歴史を活かしたまちづくりを語る会 第2回

日時:2018(平成 30)年 10 月 24 日(水)18:30~20:00

場所:五福まちづくり交流センター(五福公民館)2階会議室

Program

- 1. 前回(10 月 2 日)語る会の振り返りと本日の会の趣旨 上村元三(くまもと新町古町復興プロジェクト会長)
- 2. 「歴史的風致維持向上計画」先進他都市の事例研究 話題提供: NPO 法人熊本まちなみトラスト
- 3. 意見交換

(1)歴史的風致とは



○地域におけるその<u>固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動</u>と その活動が行われる<u>歴史上価値の高い建造物</u>及びその<u>周辺</u> の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境 (地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律 第1条より)

> 歴史上重要な建造物及び周辺 の市街地と人々の営みが一体 となった「歴史的風致」
> 歴史上価値の高 い建造物及びそ

歴史と伝統を反映 した人々の営み、 生活、活動

【計画対象】

歴史的風致の概念図

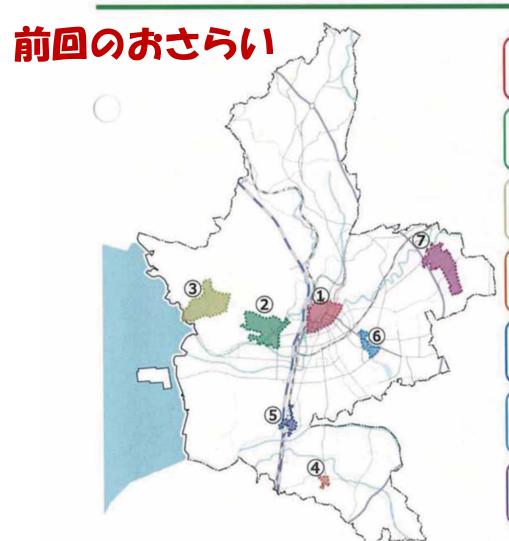
※建造物、活動共に 50年以上の歴史が必要

の周辺の市街地

以下の資料は8/21協議会資料(市作成)★今後変更があると思われます

(1)代表的な歴史的風致(一覧)





①城下町の祭礼等にみる歴史的風致

②龍伝説と池辺寺の名残りにみる歴史的風致

③松尾町近津・平山の祭礼にみる歴史的風致

④六殿神社秋季例大祭にみる歴史的風致

⑤港町の祭礼等にみる歴史的風致

⑥豊かな湧水にみる歴史的風致

⑦託麻新四国八十八ヶ所めぐりをはじめと する村々の祭りにみる歴史的風致

前回のおさらい (2)代表的な歴史的風致



①城下町の祭礼等にみる歴史的風致

加藤清正による熊本城築城後、城下の新町・古町は町人の町・商工の町として発展した。江戸時代の町割りとともに明治・大正期の建物が残るとともに、江戸時代から続く藤崎八旛宮例大祭などの祭礼が継承されており、城下町の雰囲気が残る特徴的な歴史的風致を形成して いる。

【建造物】

- ·藤崎八旛宮、御旅所
- · 熊本城跡(国特別史跡)
- ·吉田松花堂
- ・長崎次郎書店 など



▲藤崎八旛宮



▲吉田松花堂



▲長崎次郎書店

【活動】

- ·藤崎八旛宮例大祭
- ・新町獅子舞 など



▲藤崎八旛宮例大祭



▲能舞台(御旅所)



▲新町獅子舞

35

①城下町の祭礼等にみる歴史的風致 凡例 旧城域 ● 歴史的建造物 *** 藤崎八旛宮例大祭 朝随兵ルート 池田屋 *** 藤崎八旛宮例大祭 夕随兵ルート 新町地区 古町地区 薩摩街道 夏目漱石 夏目漱石 歴史的風致の想定範囲 第五旧居 第六旧居 その他 前回のおさらい 藤崎八旛宮 田尻家 御旅所 熊本城 吉田松花堂 • 小泉八雲 熊本旧居 • 長崎次郎書店 ●野田市兵衛商店 清永本店 ヒュアリィ PSオランジュ 黒瀬商店● 早川倉庫 ●大石蕎麦 料理谷邸 0 100 200

熊本市が提示している代表的な歴史的風致

- •城下町の祭礼にみる歴史的風致(新町古町を含む旧城下町エリア)
- ・龍伝説と池辺寺の名残りにみる歴史的風致 (池辺寺周辺のエリア /池上小学校区)
- 松尾町近津・平山の祭礼にみる歴史的風致(金峰山西側一帯)
- ・六殿神社秋季例大祭にみる歴史的風致(雁回山麓木原不動尊周辺エリア)
- 港町の祭礼等にみる歴史的風致 (川尻船着場周辺エリア)
- 豊かな湧水にみる歴史的風致(水前寺江津湖エリア)
- ・託麻新四国八十八ヶ所めぐりをはじめとする村々の 祭りにみる歴史的風致(託麻三山エリア)



旧城下町エリアエリアの中には多様な歴史的風致を設定できるのではないか

例えばどんな歴史的風致が?? 本日の質問 です

事例研究 1 金沢

金沢市の維持及び向上すべき歴史的風致

金沢の歴史的風致は、その風土と歴史に根ざした都市構造を基盤とする歴史的建造物や歴史的街並みとともに、人々の生活、生業として現在も営まれている伝 統行事、伝統文化及び工芸技術が一体となって形成される良好な市街地環境である。

1. 金沢城・兼六園周辺に見る歴史的風致

藩政期以来、金沢のシンボルとして都市核を 形成する金沢城跡と兼六園及びその周辺は、 金沢を象徴する歴史的風致の中心を成す歴 史的建造物であるとともに、1年を通して様々 な伝統文化や伝統行事が繰り広げられる舞台 となっている。



兼六園(雪吊り)

2. 茶屋街に見る歴史的風致

藩政期以降の3茶屋街では、一般の町家建 築とは趣の異なる茶屋建築が残っている。この ような昔ながらの茶屋建築では、加賀百万石 の伝統文化を示す芸能や茶屋文化が現在も 華やかに息づいている。



茶屋建築(ひがし検番)

3. 寺院群に見る歴史的風致

藩政期に形成された3寺院群では、藩政期 から広く庶民の間で信仰されてきた宗教行事 や民俗行事が盛んで、現在も季節ごとにそれら を寺院や神社で見ることができる。



四万六千日参りの案内

4. 旧武士居住地に見る歴史的風致

藩政期に城下の約6割の面積を占めていた 武士居住地は、金沢城を中心に面的に広がっ ていた。現在でも土塀の連続や長屋門などそ の歴史的名残を市内各所に見ることができる。



土塀のコモ掛け作業

5. 旧町人居住地に見る歴史的風致

藩政期に城下の約3割の面積を占めていた 町人居住地は、北国街道や往還の沿道に線 的に広がっていた。旧往還の沿道などには、 間口が狭く両隣が建て詰まり、奥行の深い町 家建築が現在も残り、旧町人居住地の往時を 偲ばせる。



旧街道に見る町家(大樋町)

6. 河川に見る歴史的風致

犀川と浅野川は金沢を代表する河川であり、 川幅が広く悠々と流れる犀川と、流れがやさし く繊細な情緒が漂う浅野川では、民俗行事や 伝統工芸に関する作業を見ることができる。



7. 丘陵・台地に見る歴史的風致

卯辰山、小立野台地、寺町台地の3つの丘 陵・台地で形成された起伏のある地形と寺町 台地に連なる野田山など、丘陵地の豊かな自 然があり、そこでは、特徴的な宗教行事や民俗 行事が現在も息づいている。



野田山墓地(お盆の風景)

8. 街路・用水に見る歴史的風致

城下町を構成した街路網の基本的形態が現 在も残るとともに、旧城下町を中心に流れる用 水が 55 水系あり、総延長は約 150 kmに及ん でいる。これらの用水は、現在も市民の生活と 密接に関わりながら流れている。



大野庄用水

9. 茶の湯文化が育む歴史的風致

三代藩主利常に招かれた茶道宗和流金森 宗和や裏千家仙叟宗室により広まった茶の湯 は、工芸、作庭の分野だけでなく和菓子文化 や自宅に茶室を設える建築文化など、現在も 市民の生活に大きな影響を与えている。



10. 伝統芸能が育む歴史的風致

藩政期から受け継がれてきた多くの伝統芸 能を現在も市内各所で見ることができる。加賀 宝生は、藩主が奨励したことから武士や町人 の間に広まり、加賀獅子は、旧城下町を始め 広く伝承され、地域に最も根付いた民俗芸能と なっている。



11. 城下町と密接に関わってきた地域の歴史的風致

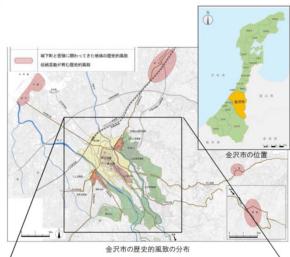
[金元の歴史的集教]

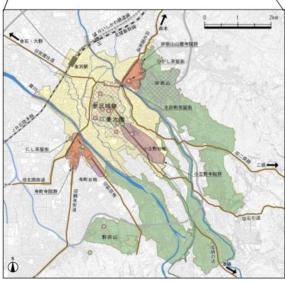
旧城下町の周辺には、藩政期に物流や特別 の産業によって城下町と深く関わりながら発展 していた地域があり、現在でも歴史的風致を色 濃く残す地区(金石・大野地区等)がある。



山王悪魔払い(大野町)

	会がは、東州国際会工党も世界的機能 (日本)、10年人際の中心党も世界的機能 (日本)・他人際の中心党と関係的 (日本)・中心党とは「中の党と (日本)・中心党をの政治 (日本)・中心党をの政治	ı	・ 金沢の国指定、国選定文化財 】
	RES: X LEXIBID	0	国际定用原文化剂 (建备物)
	480:X100088	000	MATTHAMERDON
_	河州:美名歷史的集發	-	
	58-18:X182588		现在文章是证明的建造物研究不完定
	88-81:848ee88	(5333)	MESSEXCHEM





金沢市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称 金沢城下町区域 重点区域の面積 2,140ha

金沢城跡・兼六園を核とする旧城下町並びに市街地の背景として一体で連なる自然、地形の特徴を顕著に示す台地、丘陵の一部を含む区域を重点区域の位置とし、区域は「景観条例」に基づく景観形成区域のうち、重要文化財建造物等が集積する範囲とする。 また、歴史的風致の維持及び向上に関する4つの方針に基づき、施策・事業を展開する。

1. 歴史的建造物の積極的な保全と活用に関する事業

(1)-01:金沢城公園整備事業 金沢城公園第三期整備事業として、 「鼠多門」、「鼠多門橋」の復元整備 を行う。



完成イメージ

(1)-06:金澤町家再生活用事業 金澤町家の再生活用を推進する ため、金澤町家の内外部の修繕・ 補強に対し支援する。



改修事例(店舗)

2. 歴史的街並みの保全に関する事業

(2)-07: 旧観音町通り無電柱化事業 卯辰山麓伝建地区内にある、旧観音町通りの安全な歩行空間の整備や歴史的街並みの保全のため、無電柱化を行う。



3. 歴史的建造物の周辺環境の保全に関する事業

(3)-05:多言語化事業

外国人旅行者向けに観光パンフレットや観光マップ、周遊マップ等を多言語化し、歴史的風致としての観光地をエリア別に紹介する。また、観光情報のスマートフォン対応サイト等を多言語で開設する。



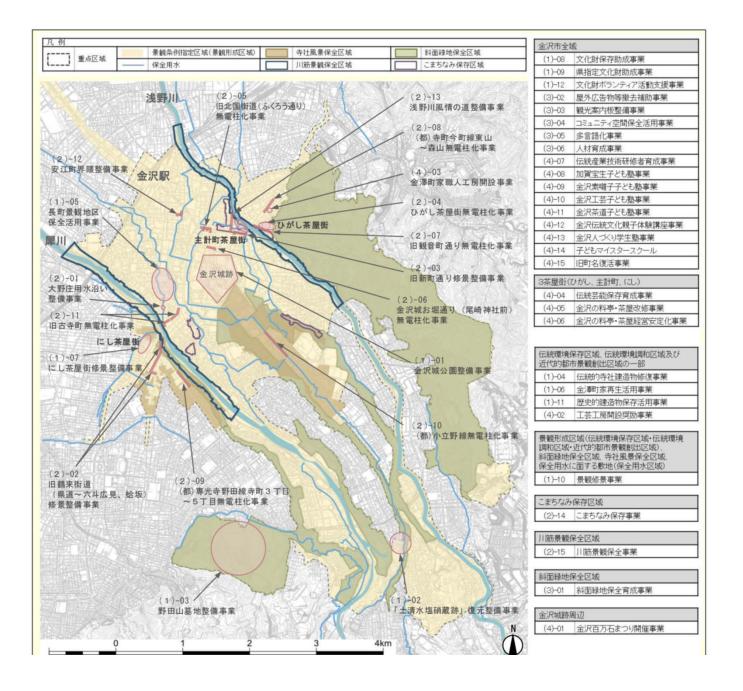
英語版観光パンフレット

4. 伝統行事、伝統文化及び工芸技術の継承、後継者の育成に関する事業

(4)-14:子どもマイスタースクール 小中学生を対象に、金沢職人大学 校に所属する現役の職人が講師とな り、伝統的な技術や体験談、文化に ついて教える。



授業の様子



事例研究 2 名古屋

名古屋市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間 平成26年度 ~平成35年度

①名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼 に見られる歴史的風致

江戸時代、名古屋城下では山車などが出される祭りが華やかに行われていました。主要な祭りであった東照宮祭、三之丸天王祭(現・那古野神社祭礼)、若宮祭は、現在も本町通周辺で、報古野神社・若宮八幡社の社殿や料亭河文(登録有形文化財)等の歴史的建造物を背景に続けられています。

また、筒井・出来町(東区) や堀川にほど近い広井(中村 区)にも多くの山車が残されて います。



那古野神社祭礼

名古屋は、古くは地方勢力の拠点として、江戸時代は御三家筆頭である尾張徳川家の城下町として、また近代以降は我が国における経済産業の一大拠点として発展してきました。

こうした歴史を背景に、名古屋市内には、名古屋城下町を中心に行われてきた山車祭りや熱田神宮の伝統行事、街道や城下町の周辺地域で独自に発展してきた祭り、近代化や戦災復興の中で始まった営みなどが歴史的建造物とともに残され、歴史的風致を形成しています。

③尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる 歴史的風致



尾張戸神社の茅の輪くぐり

上志段味地区には、市内最 古の大型前方後円墳である白 鳥塚古墳をはじめ、多くの店 墳が残されており、古代に地と 考えられています。古墳の上 考えられています。古墳の上 時社では、茅の輪くぐり破 が板板の伝統行事が行われ、地域の 歴史を感じることができます。

⑤街道や城下町の周辺地域等に 見られる歴史的風致



有松の町並みと山車祭り

有松では、東海道の 歴史的な町並みを背景 に山車祭りが行われ、 美しい歴史的風致を形 成しています。

尾張四観音として、 尾張四観音を見ている 荒子観音、龍泉寺、あっている 芸報音、、甚目寺・節分から には、今も恵方くの 大の風習が残ります。 人々が訪れます。

④堀川・四間道界隈に見られる 歴史的風致

名古屋城と地で開門のさ名言と城で開入るでは、 を取り、 をいり、 をいり、



四間道界隈の屋根神

②熱田神宮等に見られる歴史的風致

熱田神宮等では、様々な伝統行事が続けられています。 熱田祭(例祭)に出される献灯まきわらは、かつて熱田の 人中によるものです。またの古された山本たのには、独田神宮・かかり古墳や神社を墓祭が、米上姉子教では御陵墓祭が、大店斎田を植ては隣接する大高斎田を植たる。

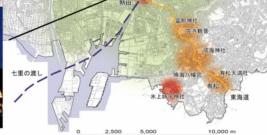


熱田祭(献灯まきわら)



佐屋街道

美濃街道



岩倉街道

曲小用#

名古屋城

一久是大通

若宮八幡社

高座結御子神社

的資金面

名古屋テレビ塔

揚寶莊

奥正寺

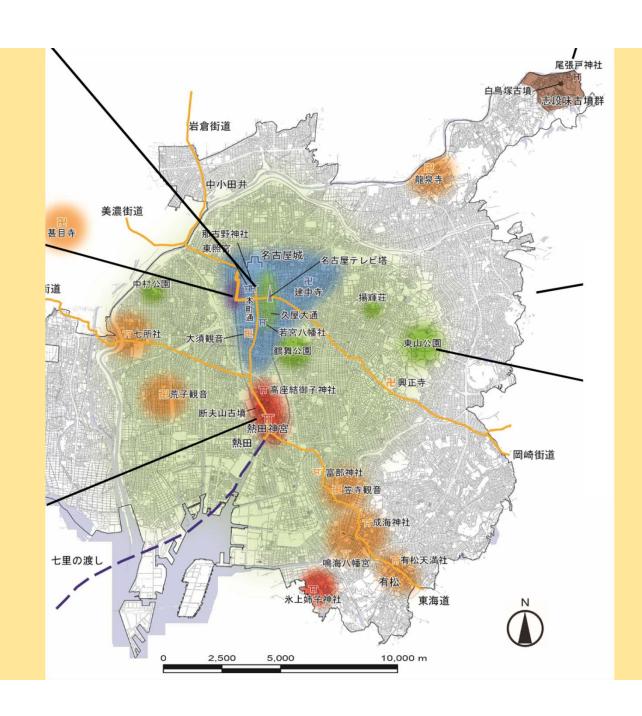
岡崎街道

⑥大都市名古屋の発展過程に見られる 歴史的風致

明治時代以降、名古屋は産業発展を遂げ、港・道路・ 運河などが整備されました。 鶴舞公園などの大公園もつ くられ、市民の憩いの場として歴史を重ねてきました。 財界人の別荘としてつくられた揚輝荘も当時の文化を現 代に伝えています。



名古屋まつり



名古屋市の重点区域における事業の概要

名古屋城周辺地区(約1,040ha) ①名古屋城本丸御殿の復元 ②名古屋城西南隅橹の半解体修理 4)名古屋城二之丸庭園の整備 5 名古屋城石垣の整備 旧二之丸東二之門(重要文化財 6世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進 西北隅槽(重要文化財) 7.名古屋城本丸御殿隨壁画復元模写 二之丸庭園(名勝) 8名古屋城本丸御殿障壁画保存修理 西南隔槽(重要文化財) 表于7月(重要文化財) 二之丸太手二之門(重要文化財) 0 123456 (7)(8) 。特别史跡名古屋城跡 ⑨本町城下町歴史案内板等整備事業 25 領名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁本庁舎の歴史的価値の ①重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」 27 の保存・公開と市政資料館としての活用 (欧文化のみちの推進 (欧文化のみちの推進 (欧英化のみちの推進 (欧英化のみち権木館の管理運営 ⑤文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営 保護土均かりの文学資料室 ①建中寺前無電柱化事業 (は徳川園の管理運営 (改革左文庫の保存と公開沃用 匈歴史的町並み保存事業(四間道地区) ②「ものづくり文化の道」推進事業 の堀川の総合整備 ②中川運河の再生 ②栄地区まちづくりブロジェクトの推進(名古屋テレビ塔) ②栄地区まちづくりブロジェクトの推進(名古屋テレビ塔) ②中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業 1,000 2.000 m ■重点区域 ●重要文化財等

①名古屋城本丸御殿の復元

戦災で昭和20年 に焼失した名古屋城本 丸御殿を、史実に基本 き忠実に復元する。平 成25年5月に第1期 公開(玄関・表書院)、 平成28年6月に第2 期公開(対面所・下御 膳所)を開始。平成3 0年度全体公開予定。



復元された本丸御殿玄関

①文化のみちの推進



文化のみち二葉館

9 本町城下町歴史案内板等整備事業

名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、名古屋城への来訪者を 古屋城への来訪すリア」に引き出すため、 歴史を紹介する案、名 古屋城か中の模型門へ 板で関連がよって でで行う。



山車の模型イメージ

⑩名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁 本庁舎の歴史的価値の維持向上



市役所本庁舎(左)と 県庁本庁舎

熱田地区(約190ha) ①

熱田神宮

• 史跡断夫山古墳

重点区域

• 重要文化財等

①尾張名所図会看板の整備



名所図会

①尾張名所図会看板の整備 ②水上交通ネットワークの検討 ③熱田区役所における歴史資料展示

しだみ 志段味地区(約290ha)

「歴史の里」整備事業(拠点地区を中心に重点区域内各所) (古墳等の整備、全体ネットワーク化事業、公開活用事業)



「歴史の里」整備事業

貴重な文化財である史跡白鳥塚 古墳をはじめとする志段味古墳群 の復元整備を行うとともに、郷土 の歴史・文化の学習と自然体験が できるようガイダンス機能を有す る施設や案内板の整備等を行う。



史跡白鳥塚古墳

事例研究 3 佐賀

佐賀市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間 平成24年度(2012)~平成33年度(2021)

・佐賀市の平野部の成り立ちは有明海に大きく起因し、自然の陸化や鎌倉時代から行われてきた干拓により現在の佐賀平野が形成されてきました。江戸時代には、 鍋島氏の居住である佐賀城を中心とした西国の雄藩に相応しい城下町が建設されました。そして、海外に門戸を開いていた長崎と小倉を結んだ長崎街道は、佐賀 城下町を貫き、長崎にもたらされた海外の珍しい文物・文化は佐賀の地にも大きな影響を与え続けてきました。このような地形的・位置的背景のもと変遷を歩んでき た佐賀市には、地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史的価値の高い建造物とが一体となった歴史的風致が形成され、今日ま で継承されています。

01.城下町の形成とその維持から見える歴史的風致

江戸期に完成した町割は、ほぼそのままの位置と形状で 現代に継承されており、そこで行われる「川干」や消防活 動が地域住民によって継承されています。



「川干し」裏十間川⇒

05.堀文化の継承から見える歴史的風致

低平地である城下町とその周辺は、水の恩恵とともに水害による危険性を持ち合わせています。現在も水の恩恵を享受するため、また大雨による堀や川の氾濫を回避するための活動や水難事故から子供たちを守る「ひゃーらんさん」まつりが継承されています。 ひゃーらんさんまつりの円座=



02.長崎街道と菓子文化の継承から見える歴史的風致

幕府から長崎警備を命じられた佐賀藩は、南蛮文化とともに当時貴重だった砂糖も手に入れることができました。砂糖を使った南蛮菓子文化が長崎街道沿いを中心に花開き、当市の南蛮菓子である「丸ぼうろ」は、現在も市内の多くの店で焼かれ市民の日常の中に息づいています。



丸ぼうろ

06.祭事の継承から見える歴史的風致

広大な佐賀平野は米どころとして、農家の豊饒への祈りや自然への感謝の念が強く、多くの集落で行われている 浮流、「白鬚神社の田楽」、「三重の獅子舞」や小正月行 事の「見島のカセドリ」等の祭事がそれぞれの地域に受け 継がれています。



目息のカセドリ

03.近代化産業と伝統産業の継承から見える歴史的風致

佐賀藩が藩をあげて科学技術の習得に力を入れていた 「精錬方」の事業のうち、ガラス事業については、経営体制 を変えながら引き継がれており、そのガラス器製造の過程 には、現在も「精錬方」由来の近代化産業の息吹が感じら れます。



肥前ビードロ

04.城下町の恵比須信仰から見える歴史的風致

他に例をみないと言われるほど恵比須像の数が多いため、市民にとって身近な存在であり、大事にされてきました。 恵比須さんは、ふくよかな笑みを浮かべており、佐賀城下は「恵比須さんが微笑むまち」でもあります。



恵比須像⇒



佐賀市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積 佐賀城下町地区 約400ha

江戸時代からの城下町の町割りが残り、その町割りを維持する活動が行われている。また伝統文化や恵比須信仰も継承されている。その城内及び城下町の 範囲を基本として重点区域を設定し、歴史的建造物の保全や道路・水路等の整備等を行い、歴史的風致の維持向上を図る。

【都市公園の整備】 4. 松原公園整備事業



■松原公園(整備計画区域)

【歴史的建造物の保全】 5 旧久富家住宅取得保存修理事業

大正期に対したの町人に対しての町久にある取るである。保のの人にから、ための修を行う。



■旧久富家住宅(整備後)

【道路の保全整備】 14. 長崎街道再整備事業



■長崎街道

【案内サイン等の整備】 19. 案内・説明看板及び誘導看板整備事業

歴史的資産が点在する長崎街道を中心に指定文化財や史跡等に関する案内・説明・誘導サインの新設・改修・修繕を行う。



■説明サイン(整備後)

【水路の保全整備】

21. 水路保全整備事業

江戸期の町割りを継承する水路において、今も残る赤石護岸の保全や石積護岸の整備及び整備に対する助成等を行う。



■石積護岸の整備(整備後)



熊本市が提示している代表的な歴史的風致

- •城下町の祭礼にみる歴史的風致(新町古町を含む旧城下町エリア)
- ・龍伝説と池辺寺の名残りにみる歴史的風致 (池辺寺周辺のエリア /池上小学校区)
- 松尾町近津・平山の祭礼にみる歴史的風致(金峰山西側一帯)
- ・六殿神社秋季例大祭にみる歴史的風致(雁回山麓木原不動尊周辺エリア)
- 港町の祭礼等にみる歴史的風致 (川尻船着場周辺エリア)
- 豊かな湧水にみる歴史的風致(水前寺江津湖エリア)
- ・託麻新四国八十八ヶ所めぐりをはじめとする村々の 祭りにみる歴史的風致(託麻三山エリア)



旧城下町エリアエリアの中には多様な歴史的風致を設定できるのではないか

例えばどんな歴史的風致が?? 本日の質問 です